

授業科目	子どもの理解と援助					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	上村 真生						
授業概要	保育者が保育を計画・実施する際、子どもの発達を含む現状をより正確に把握することは必要不可欠である。そこで本講義では、保育所保育士としての実務経験を踏まえ、子ども理解のための基礎的な理論及びアセスメントのあり方を概説し、援助方法について解説する。						
授業形態	対面授業（一部オンデマンド）			授業方法	PBL		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"> 保育実践において、子ども一人ひとりの心身の発達を把握することの意義を理解し、説明できる。 様々な体験や学びの過程において子どもを理解する視点について説明できる。 観察、記録、省察、評価など子どもを理解する方法を知り、実践できる。 子どもの理解に基づく発達援助の方法を説明できる。
理想的レベル	<ul style="list-style-type: none"> 保育実践において、子ども一人ひとりの心身の発達を把握することの意義を理解し、自分の言葉で説明できる。 様々な体験や学びの過程において子どもを理解する視点について複数説明できる。 観察、記録、省察、評価など子どもを理解する方法を複数知り、実践できる。 子どもの理解に基づく発達援助の方法を様々な観点から説明できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物	70%	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	WE21610J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

授業内容を振り返っておくこと	1
----------------	---

授業計画

第1回	オリエンテーション 子ども観についての概説
第2回	幼児理解の必要性について 保育をする上で幼児を理解するとはどういうことかを解説する
第3回	アセスメントについて 幼児を理解する上でのアセスメントの重要性について解説する
第4回	発達についての基礎理論1 発達論について、グループで発表する（Aグループ）

第 5 回	発達についての基礎理論 1 発達論について、グループで発表する (B グループ)
第 6 回	発達についての基礎理論 1 発達論について、グループで発表する (C グループ)
第 7 回	アセスメントの方法 1 幼児のアセスメント法について解説する (観察記録 1 : オンデマンド)
第 8 回	アセスメントの方法 2 幼児のアセスメント法について解説する (観察記録 2 : オンデマンド)
第 9 回	アセスメントの方法 3 幼児のアセスメント法について解説する (観察記録 3 : オンデマンド)
第 10 回	アセスメントの方法 4 幼児のアセスメント法について解説する (観察記録 4 オンデマンド)
第 11 回	幼児の発達の実際 1 幼児の行動観察の方法を解説し、演習する
第 12 回	幼児の発達の実際 2 幼児の行動観察を行い、観察記録を作成する
第 13 回	幼児の発達の実際 3 観察記録を通して、幼児の行動・思考を分析する
第 14 回	幼児の発達の実際 4 観察記録を通して、幼児の行動・思考を分析する
第 15 回	半期の振り返りとまとめ
テキスト	プリントを配布する
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に配布する
課題に対するフィードバックの方法	各課題への評価コメントを提示する
学生へのメッセージ・コメント	保育原理や保育の心理学等で学修した内容を振り返っておくこと 日常生活の中で起こった出来事や自身の考えを言語化する練習をしておくこと